

2025年度_町田市里山環境活用保全計画 推進委員会

2026年2月17日(火)

重点事業 資料

2025年度の事業の進捗について

主な重点事業

報告内容 7件

山林と農地の再生
と活用

- (1) ナラ枯れの調査及び枯損木の計画伐採
- (2) 市有農地（竹林）の活用
- (3) 木工品の製作と販売・配布
- (4) 学校法人玉川学園との連携
- (5) 伐採木をしいたけ原木として活用する仕組みの構築

「まちだの里山」
の戦略的な情報発信

- (6) 「TOKYOつながる里山サミット2025」
- (7) 内閣府「地方創生SDGs」と連携した取組

重点事業 1 山林と農地の再生と活用

3

実施内容 (1) ナラ枯れの調査及び枯損木の計画伐採

◆ 施工場所

都道155号線沿い市有山林

◆ 施工期間

2025年12月～2026年1月

◆ 枯損木伐採本数

19本



● 施行前



● 施行後

重点事業 1 山林と農地の再生と活用

4

実施内容（2）市有農地（竹林）の活用

- 農地の活用に向けた調整（小山田エリア）
- ◆ 未利用市有農地（現況竹林）を隣接する農地で耕作を行う農業従事者が活用
- ◆ 活用面積 2,712㎡
- ◆ 実施者 ファームマチダ東京株式会社
- ◆ 活用開始 2025年7月1日



● 現地の様子（近景）



● 現地の様子（遠景）

重点事業 1 山林と農地の再生と活用

5

実施内容 (3) 木工品の試作とモニター販売・配布

◆ ネームカードホルダー



◆ 幼児用おもちゃ、スツール



● 加工前の木材



重点事業 1 山林と農地の再生と活用

6

実施内容（4）学校法人玉川学園との連携

- ◆ 学校法人玉川学園と事業連携協定を締結
- ◆ 社会問題化している放置竹林の再生と活用をテーマに学生へ説明。竹を活用したイルミネーションを実施。



- イルミネーションの様子



- 市事業連携協定締結の様子



- 市職員による放置竹林問題の解説

重点事業 1 山林と農地の再生と活用

7

実施内容（5）伐採木をしいたけ原木として活用する仕組みの構築

- ◆ NPO法人による里山保全活動で発生する伐採木を、しいたけ栽培の原木として市内の社会福祉法人が利用する仕組みを構築。



- 上 原木入荷作業の様子
- 下 植菌作業の様子



出典：社会福祉法人まちだ育成会ホームページ

重点事業3 「まちだの里山」の戦略的な情報発信

8

実施内容(6) 「TOKYOつながる里山サミット2025」

- ◆ 東京都公園協会主催「TOKYOつながる里山サミット2025」へ後援自治体として参加
- ◆ 展示やデジタルスタンプラリーなどの実施に協力

TOKYO
つながる
里山
サミット
2025

11/22 土曜日 9:30-15:50

参加費 無料

会場 多摩中央公園

主催: 東京都公園協会
後援: 多摩市 / 八王子市 / 日野市 / 町田市

登壇者紹介

倉本 宜	明治大学農学部農学系 専任教授・博士 (農学)
仙仁 桂	パシフィック多摩ミュージアム 学芸員
藤岡 秀樹	NPO 法人 まちだの里 副理事長
船田 孝隆	公益財団法人 東京都公園協会 多摩丘陵エリア 自然公園部 部長
小池 義隆	公益財団法人 東京都公園協会 多摩丘陵エリア 自然公園部 シンクラー
長久 豊	株式会社 農林木材センター
小林 健人	NPO フェアジョブ機構 八王子市自然公園 部長

タイムスケジュール

09:30	開場
09:50	オープニング
10:00	基調講演 「多摩の自然とつながる里山の魅力」 仙仁 桂
10:40	休憩・準備
10:45	活動紹介 藤岡 秀樹 / 船田 孝隆 / 小池 義隆
12:30	里山トークショー ヒロシ (農人)
13:30	パネルディスカッション コーディネーター: 倉本 宜 テーマ: 里山の自然・文化を、次の世代につなげる
15:40	閉会の挨拶 パシフィック・長久 豊 / 仙仁 桂 / 小林 健人 / 船田 孝隆

オープンスタジオ

市民ギャラリー

出典: 東京都公園協会ホームページ

重点事業3 「まちだの里山」の戦略的な情報発信

9 実施内容（7）内閣府「地方創生SDGs」と連携した取組

- ◆ 小田急エージェンシー「CHAKKA」×内閣府「地方創生SDGs」による取組
- ◆ “地域に火を灯す”コミュニティWEBメディア「CHAKKA」で小野路竹倶楽部の取組を発信
- ▶ 記事で紹介した地域が集まるPOPUPイベント「地域着火店」へ出展（2026年2月21日・22日）

